

かざま うら

議会だより



大間原子力サイト視察

目次

No. 122

令和7年10月発行

■発行:青森県風間浦村議会
■編集:議会広報編集委員会
〒039-4502 青森県下北郡
風間浦村大字易国間字大川目28-5
TEL 0175-35-2111
FAX 0175-35-2403

- 定例会・・・・・・・・・・・・・ P 2
- 令和6年度決算審査報告・・・・・・ P 5
- 各種委員会・全員協議会・・・・・・ P 9
 - 全員協議会
 - 議会運営委員会
 - 総務常任委員会
 - 大間原子力発電所対策特別委員会
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・ P14
- 議会活動・・・・・・・・・・・・・ P17
- ちょっと一言・編集後記・・・・・・ P18

令和6年度
一般会計歳出決算

32億6,795万7千円 認定



能登勝彦 議長



富岡 村長

9月
定例会

令和7年第3回定例会（9月議会）が9月3日から8日までの6日間の会期で開催され、報告3件・人事案件7件・決算認定7件・条例等4件・補正予算5件・陳情1件の全議案を全会一致で認定及び可決しました。

9月定例会

特別委員会設置

★『議会活性化特別委員会』

令和7年5月の議会運営委員会にて提案のあった「タブレット端末の導入」等の審査の場として全議員で構成する特別委員会を設置。

・委員長…越膳 喜好
・副委員長…蛸島 巨

〈付託事件〉

- ①タブレット端末の議会への導入について
- ②議会の会議の中継について

選挙管理委員及び同補充員の選挙

★選挙管理委員会委員（4名）及び同補充員（4名）・・・議長による指名推選

内容…現任委員の任期満了に伴う委員の選任。

（任期…令和7年10月1日から令和11年9月30日）

◎選挙管理委員会委員

濱邊 緑氏、池田 修氏、川崎たつ子氏、金橋 謹一氏

◎同補充員

濱邊 満里氏、小館 勝己氏、川島 武夫氏、木下 光子氏

報告

★令和6年度風間浦村一般会計継続費精算報告書

（内容）村勢要覧作成事業に係る継続費の清算を報告。

★令和6年度風間浦村健全化判断比率の報告（表1参照）

（内容）令和6年度一般会計等決算に基づく実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率並びにその算定の基礎となる事項の報告
↓ 比率は健全段階

表1 《令和6年度風間浦村健全化判断比率》

実質赤字比率 （注1）	連結実質赤字比率 （注2）
－％ （15.0％）	－％ （20.0％）
実質公債費比率 （注3）	将来負担比率 （注4）
12.1％ （25.0％）	－％ （350.0％）

※（ ）内は、当村の早期健全化基準比率（注5）である。

※実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合は「－」で表記。

(注1) 実質赤字比率・一般会計等に生

じている赤字の大きさを、その地方公共団体の標準財政規模に対する割合で表したものの。

(注2) 連結実質赤字比率・企業会計を

含む地方公共団体の全会計に生じている赤字の大きさを、標準財政規模に対する割合で表したものの。

(注3) 実質公債費比率・地方公共団体の

借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の標準財政規模に対する割合で表したものの。

(注4) 将来負担比率・地方公共団体の

借入金（地方債）や将来支払っていく負担等の大きさを、その地方公共団体の標準財政規模に対する割合を表したものの。

(注5) 早期健全化基準比率・地方公共

団体が、財政収支が不均衡な状況その他の財政が悪化した状況において、自主的かつ計画的にその財政の健全化を図るべき基準として定められた数値。

★令和6年度風間浦村資金不足比率の報告

(表2参照)

内容…令和6年度公営企業等（簡易水道

事業）決算に基づく資金不足比率及びその算定の基礎となる事項の報告 ↓ 比率は健全段階

表2 《令和5年度風間浦村資金不足比率》

特別会計の名称	資金不足比率 (注6)	備考
簡易水道特別会計	－%	

※経営健全化基準比率（注7）は、20.0%

※資金不足比率が算定されない場合は「－」で表記

(注6)

資金不足比率・公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率。

(注7)

経営健全化基準比率・資金不足比率の基準で、地方公共団体が自主的かつ計画的に公営企業の経営の健全化を図るべき基準として定められた数値。

人事案件（全会一致同意）

☆風間浦村易国間財産区管理会委員の選任

につき同意を求めることについて…

一括起立採決

内容…任期満了に伴う任命（任期…令和7年10月4日から令和11年10月3日）

◎再任

阿部 利行氏、工藤 豊彦氏、家政 勝行氏、濱邊 俊一氏、松原 弘幸氏

◎新任

浜辺 孝夫氏、廣谷 一郎氏

決算認定案（全会一致認定）

☆令和6年度風間浦村一般会計歳入歳出決算認定

☆令和6年度風間浦村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

☆令和6年度風間浦村介護保険特別会計歳入歳出決算認定

☆令和6年度風間浦村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

☆令和6年度風間浦村下風呂財産区一般会計歳入歳出決算認定

☆令和6年度風間浦村易国間財産区一般会計歳入歳出決算認定

☆令和6年度風間浦村簡易水道事業会計決算認定

※決算額等の内容については、当広報7～8ページをご覧ください。

条例等案（全会一致可決）

補正予算案（全会一致可決）

☆風間浦村議会議員及び風間浦村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について

☆風間浦村有住宅管理使用条例の一部を改正する条例について

内容…公職選挙法施行令の一部改正に伴い、村議会議員及び村長の選挙における選挙運動の公費負担に係るビラ及びポスターの作成単価を引き上げる改正を行うもの。

☆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

内容…職員の通勤手当に関し、青森県職員の通勤手当の改正に準じて、1箇月当たりの通勤手当の上限額等の改正を行うもの。

☆職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

内容…地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、部分休業の時間を定める等の改正を行うもの。

☆風間浦村有住宅管理使用条例の一部を改正する条例について

内容…解体済みの村有住宅4棟について本条例の管理規定から削るもの。

☆令和7年度補正予算

○一般会計補正予算

内容…既定の歳入歳出予算に2億1,356万1千円を追加し、総額をそれぞれ50億8,881万1千円とする。

歳入の主なもの

- ・普通交付税
1億6,926万6千円の追加
- ・役場庁舎等建設事業債
8,740万円の追加
- ・社会資本総合交付金（地域生活拠点）
8,380万円の減額

歳出の主なもの

- ・一部事務組合下北医療センター負担金（診療所費）
1,806万4千円の追加
- ・下風呂温泉宿泊キャンペーン事業業務委託料
400万円の計上
- ・財政調整基金積立金
1億1,600万円の追加

○国民健康保険特別会計補正予算

内容…既定の歳入歳出予算に148万5千円を追加し、総額をそれぞれ2億5,754万9千円とする。

億5,754万9千円とする。

歳入の主なもの

- ・子ども・子育て支援事業費補助金
148万5千円の計上

歳出の主なもの

- ・子ども・子育て支援制度システム改修業務委託料
148万5千円の計上

○介護保険特別会計補正予算

内容…既定の歳入歳出予算に2,620万6千円を追加し、総額をそれぞれ3億6,009万9千円とする。

歳入の主なもの

- ・前年度繰越金
2,554万7千円の追加

歳出の主なもの

- ・国庫支出金及び県負担金過年度分返還金
740万4千円の追加
- ・予備費
1,880万2千円の追加

○後期高齢者医療特別会計補正予算

内容…既定の歳入歳出予算に71万5千円を追加し、総額をそれぞれ3,527万円とする。

歳入の主なもの

・子ども・子育て支援事業費補助金
71万5千円の計上

歳出の主なもの

・子ども・子育て支援制度システム
改修業務委託料
71万5千円の計上

○簡易水道事業会計補正予算

内容…簡易水道事業費用に82万5千円の追加。

内訳…時間外勤務手当38万1千円、配管補修消耗品費20万円の追加等。

意見書案（全会一致可決）

☆高額療養費の自己負担の撤回を求める意見書について

〈陳情の提出者〉

青森県社会保障推進協議会

会長 大竹 進

〈可決された意見書の主な内容〉

政府に対し、当事者の方々のいのちと暮らしを守るため、高額療養費の自己負担引き上げについては凍結ではなく、撤回することを強く求める。

〈意見書提出先〉

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

令和7年第2回臨時会

令和7年第2回臨時会が7月9日に開催され、「物品売買契約の締結について」を全会一致で可決した。

契約の締結（全会一致可決）

★物品売買契約の締結について

避難者生活環境確保等事業に係る、自走式トイレカー2台の物品売買契約の締結。

令和7年第3回臨時会

令和7年第3回臨時会が8月25日に開催され、「風間浦村給油施設の設置及び管理に関する条例について」を全会一致で可決した。

条例の制定（全会一致可決）

★風間浦村給油施設の設置及び管理に関する条例について

風間浦村給油施設の設置及び管理に関する条例の制定。

設置 住民福祉の向上及び災害時における燃料供給の安定確保に資するため、給油施設を設置する。

名称 風間浦村サービスステーション

9月定例会



受贈となったサービスステーション

令和6年度一般会計・

各特別会計決算審査

(監査委員意見書)

代表監査委員 佐賀 英樹

監査委員(議会選出) 杉山 太

審査の対象

一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算

【付属書類】

- (1) 歳入歳出決算事項別明細書
- (2) 実質収支に関する調査
- (3) 財産に関する調査
- (4) 決算に係る主要な施策の成果に関する報告書

審査の期間

令和7年8月5日～7日の3日間。

審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査及び財産に関する調査等は、いずれも法令に準拠して作成されており、その計数については関係書類等と照合した結果、正確であると認められた。

また、予算の執行及び関連する事務は、

適正に処理されているものと認められた。

令和6年度一般会計決算状況

一般会計決算状況は、歳入が33億7,474万3千円、歳出は32億6,795万7千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引くと実質収支額は1億56万6千円の黒字となっている。(7ページの表を参照)

財政状況

歳入の46・5%を占める地方交付税が対前年度比2・8%の増となり、実質収支は不用額の抑制を図ったことなどから1億56万6千円となった。引き続き不用額の抑制を図り、予算の効率的な配分を行っていただきたい。

地方債の残高

地方債の令和6年度末現在高は、対前年度1,843万2千円増の27億7,806万3千円となっている。

基金の状況

基金の令和6年度の状況は、財政調整基金が6,607万9千円の増、役場庁舎建設基金が3,506万8千円の減、水産業振興基金が4,915万円の減などとなつ

ている。今後の村財政を考えると基金に関しては十分協議しながら計画的に運用してもらいたい。

収入未済額

村民税1,222千円、固定資産税14,510千円、入湯税1,123千円、土地貸付料1,154千円、奨学資金貸付金7,311千円、国民健康保険税7,225千円、水道使用料12,747千円及び介護保険料3,733千円が顕著なものである。自主財源の根幹をなす税・料金等の収入確保は最優先課題であることから、全庁的な滞納対策体制を強化し、滞納発生後の迅速で適正な対応と負担の公平公正の原則に立ち、悪質と判断される滞納者に対しては毅然とした対応を堅持し、未収金発生の防止・早期回収に鋭意努力されたい。

令和6年度財政健全化判断比率及び資金不足比率

令和6年度決算に基づく、風間浦村財政健全化判断比率及び資金不足比率の各指標については、特段の問題点はなかった。しかしながら、自主財源が脆弱な本村の財政事情であるので、地方交付税が、今後どのようなに推移していくのかを見極め、安定した財政基盤の確立に向け一層の取り組みに努められたい。

相 対 的 に

予算執行において、予算不用額については、引き続き、適正な事務処理に努めてもらいたい。また、各種電算費用については、人口規模に関係なく整備が不可欠ことはやむを得ないが、総額予算が大きいことから機器更新やシステム改修等の際は十分精査し取り組む必要がある。

下風呂温泉「海峡の湯」は、開業から4年半あまりとなるが、温泉特有の影響により、設備等の修繕に多額の費用を要していることから、機械設備の点検管理に努め、運営コスト等の精査、収入増につながる施策の模索も必要である。

桑畑温泉「湯ん湯ん」は、開業から2年あまりとなるが、維持管理に一般財源の充たがえていることなどを踏まえ、機械、設備の点検・維持管理に努め、将来的な運営を検討し、対処をする必要がある。

水産業振興基金は、毎年の基金取り崩しにより残り少なくなっている。水産業を取り巻く環境は、水温の上昇等の影響によりイカ漁等の不漁、磯焼けによる海藻の繁茂面積が縮小するなど厳しい状況が続いている。水産業は本村の基幹産業であることを踏まえ、行政においても風間浦漁業協同組合と十分連携して事業を展開していただきたい。

たい。

福祉・衛生事業については、高齢化が進み需要が拡大していくので、地域のサービスを維持・確保するため、今後も事業を継続できるための支援体制に加え、新たなサービス主体が地域に参入しやすい仕組みづくりが必要である。

最後に、住民基本台帳による令和7年7月末の本村の人口は1,517人で、高齢化率は48・45%と県内でも高い状況が続いている。今後も厳しい行財政運営は続くと思われるが、役場庁舎及び消防庁舎の建設事業が進行し、公民館等公共施設の老朽化に対しても適正な配置や維持管理など施設の最適化を図っていく必要がある。

このような状況下にあつて、歳入にあつては、従来の国や県などの依存財源の確保と税、料金等の自主財源の確保、収納対策等による収入未済額の縮減に努める必要がある。

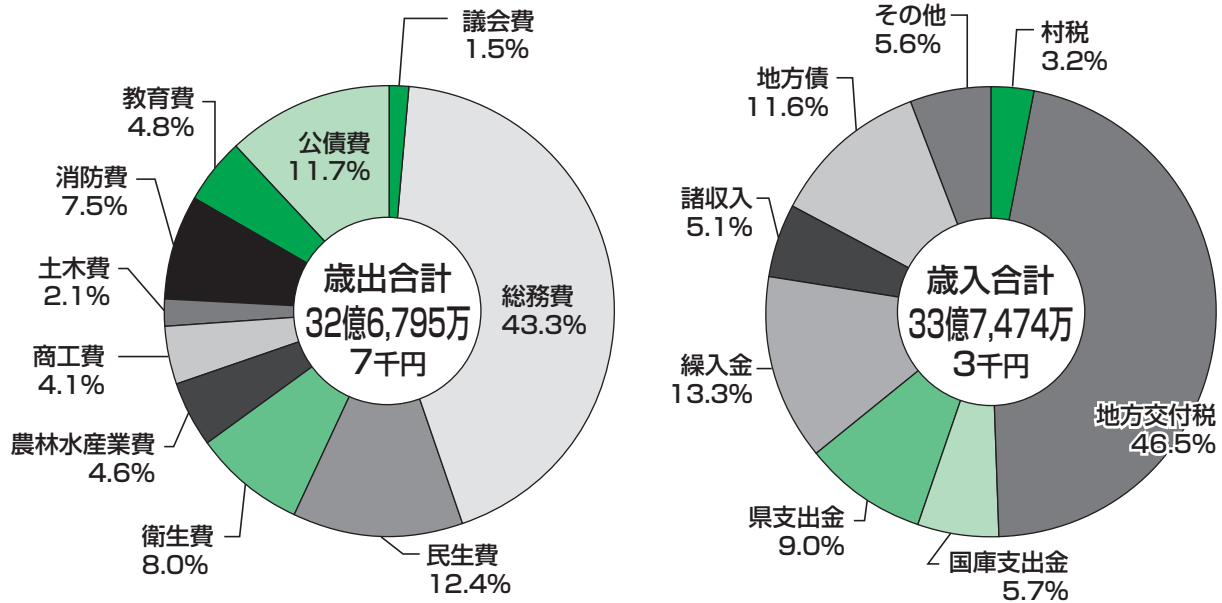
一方、歳出にあつては各施策や事業の緊急性、有効性等を見極めたうえで、財源の効率的・効果的な経費の削減を図ることに、最大の効果を上げることが求められる。まち・ひと・しごと総合戦略に掲げた施策に関し、緊急度及び優先度を念頭に創意と工夫をもって計画遂行を望むところである。

令和6年度 一般会計決算状況

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度
1. 歳入総額	3,374,743	2,976,954
2. 歳出総額	3,267,957	2,889,397
3. 歳入歳出差引額	106,786	87,557
4. 翌年度へ繰越すべき財源	(1)継続費通次繰越額	0
	(2)繰越明許費繰越額	6,359
	(3)事故繰越し繰越額	0
	計	6,359
5. 実質収支額	100,566	81,198

令和 6 年度 一般会計歳入歳出決算構成図



令和 6 年度 特別会計決算状況

(単位：千円)

会 計 別	歳 入	歳 出	差 引
国民健康保険特別会計	228,422 (279,571)	228,420 (271,764)	2 (7,807)
介護保険特別会計	337,740 (341,176)	308,193 (317,886)	29,547 (23,290)
後期高齢者医療特別会計	34,406 (31,793)	34,406 (31,793)	0 (0)
下風呂財産区一般会計	1,256 (689)	992 (371)	264 (318)
易国間財産区一般会計	2,375 (2,214)	1,999 (109)	376 (2,105)
簡易水道特別会計	— (140,487)	— (133,898)	— (6,589)

() 内は前年度決算額

令和 6 年度 簡易水道事業損益書

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度
営 業 利 益	29,160	—
営 業 費 用	95,023	—
営 業 外 収 益	82,160	—
営 業 外 費 用	8,135	—
特 別 利 益	0	—
特 別 損 失	1,117	—
当年度末処分利益余剰金	7,045	—

9月定例会

用語解説

決 算	一般会計年度（4月～翌年3月）における、歳入歳出予算に基づく収入と支出の実績です。
一 般 会 計	保健、福祉、教育及び消防など地方公共団体の行政運営にあたり、基本的な経費を網羅している会計です。
特 別 会 計	特定の歳入を特定の歳出に充てて、一般会計と区分して経理する会計です。
地 方 交 付 税	地方公共団体の財源の均衡化を図り、かつ必要な財源を保障するため、国税のうちから一定の基準で国が地方公共団体に交付するものです。
実 質 収 支	歳入決算額から歳出決算額を差し引いた額から、翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた額。実質収支は、地方公共団体の財政運営の良否を判断する重要なポイントではあるが、地方公共団体は営利を目的としていないので、黒字の額が多ければ良いというものではありません。
地 方 債	地方公共団体が資金調達のために負担する債務であって、その返済が一般会計年度を超えて将来にわたって少しずつ返済していくもので、いわゆる「村の借金」です。
繰越明許費	何らかの事由により、当該年度に支出が終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越して使用することが認められている経費のことです。

全員協議会

6月30日開催

（欠席議員なし）



能登 勝彦 議長

協議案件

1. ガソリンスタンド施設の受贈について

有限会社駒嶺石油よりガソリンスタンド施設等の寄附の申し出があった。

村は土地、建物及び物品の寄附を受け、ガソリンスタンドの営業を公設民営化方式で再開するため、指定管理者を公募する計画。

県内においても、ガソリンスタンドの公設民営化は、初めての事例であり、国、県及び関係機関から指導を仰ぎながら、慎重に事務を進めている状況。

問 応募者がいない場合は、どのように対応するのか。

答 視察した先例地では応募がなかったもので、地元の企業、または3セク等においてお願いをした。参考として準備を進めていきたい。

問 建物等の耐用年数等は。手直ししなくてよい状況なのか。

答 一番気になる地下タンクは、現段階で5年から10年は大丈夫。

2. 風間浦村給油施設の設置及び管理に関する条例（案）について

条例（案）についての説明が行われた。設置目的及び名称は次のとおり。

■設置目的

住民福祉の向上及び災害時における燃料供給の安定確保に資するため。

■名称 風間浦村サービスステーション

■指定管理者の指定の期間 5箇年

■利用料金

指定管理者が、村長の承諾を得て定める。

その他、指定管理者が行う業務、施設使用料、損害賠償義務、秘密保持義務等を規定。

問 地下タンク等の修繕は補助金があるとのことだが、指定管理業者の売上がなければ、村で全部持つのか。

答 国の補助金などは活用することになるが、他の施設の指定管理だと、ある程度金額を決めてそれ以上であれば相談、それ以下であれば指定管理者が負担というような設定もある。現在、国、県、石油組合や先例地に照会している。

8月25日開催

(欠席議員なし)

1. 令和6年度下風呂温泉「海峡の湯」の決算状況について

○入浴者の状況

(単位：人)

年 度	村内入浴者数	村外入浴者数	入浴者数計	営業日数
令和5年度	43,365	37,248	80,613	339日
令和6年度	40,528	36,789	77,317	336日
比 較	▲ 2,837	▲ 459	▲ 3,296	▲ 3日

○収支の状況

(単位：円)

年 度	歳入合計	歳出合計	収 支
令和5年度	23,714,402	31,483,620	▲ 7,769,218
令和6年度	23,119,006	34,233,414	▲ 11,114,408
比 較	▲ 595,396	2,749,794	3,345,190

問 人件費の増大、建物の老朽化等による、赤字額の改善を図る方法は。

答 まず入浴者にご不便がないように設備やその他サービスは今よりも下げることなく、安心・安全に運営していく。歳出超過は今後も増えていくと思うが、状況を把握しながら、必要があれば若干の入浴料のアップもやむを得ない。

2. 桑畑温泉「湯ん湯ん♪」の決算状況について

○入浴者の状況

(単位：人)

年 度	村内入浴者数	村外入浴者数	入浴者数計	営業日数
令和5年度	8,128	19,705	27,833	310日
令和6年度	7,887	22,314	30,201	314日
比 較	▲ 241	2,609	2,368	4日

○収支の状況

(単位：円)

年 度	歳入合計	歳出合計	収 支
令和5年度	12,592,192	32,339,532	▲ 19,747,340
令和6年度	13,954,659	35,607,122	▲ 21,652,463
比 較	1,362,467	3,267,590	1,905,123

問 入浴者数を増やすための方策は。

答 温泉の美容効果のモニタリング調査で、体験者から良い感触があったので、ホームページ、または施設で掲示などを行いPRする。

問 広告料の内訳は。

答 ATV 及び FM 青森の温泉スタンプラリー。

3. 桑畑温泉「湯ん湯ん♪」及び下風呂温泉「海峡の湯」の営業形態並びに入浴料の見直しについて

○桑畑温泉「湯ん湯ん♪」

・営業時間の短縮

村民利用者が少ない時間帯である月曜から金曜の午後7時～9時の営業時間を短縮。土日は通常営業。年間支出抑制額約139万円（収入減約66万円、支出減約205万円）

・週休2日の導入

休館日を現在の水曜日のみから、利用者が最も少ない金曜日を追加し、週休2日とする。年間支出抑制額約130万円（収入減約156万円、支出減約286万円）

・食堂について

大幅な歳出超過。値上げ、廃止及びテナントなど、今後の検討課題。

・施設改修について

メンテナンスをより充実させ、維持管理しながら運営。

○下風呂温泉「海峡の湯」

・1週1休の導入

現在の2週1休から1週1休の導入を検討し、働き方改革や施設及び設備のメンテナンスの充実を図り、安定的な運営を目指す。

○入浴料について

同じ村運営の温泉施設で料金が異なっていることから料金の統一を図る。

区 分	現 在		改訂 (案)
	湯ん湯ん♪	海峡の湯	
大 人 (村 内)	400 円	150 円	200 円
大 人 (村 外)	400 円	450 円	450 円
中 学 生	400 円	100 円	150 円
中人 (小学生)	150 円	50 円	100 円
小人 (3～6歳)	60 円	無料	無料
村 民 敬 老	400 円	100 円	150 円

※ 3才未満の乳幼児は無料

入浴料を統一したことによる試算では、桑畑温泉は51万5千円の収入減、下風呂温泉は194万2千円の収入増。

問 赤字が大幅に出ているが、財源はどのように確保するのか。

答 料金改定、営業形態等も含めながら、総合的に財源対策をしていく。

4. 風間浦診療所運営費負担金について

基本協定で、決算において施設の収益的収支に欠損金が生じた場合、村と章士会が協議し、その全額または一部を村が翌年度補填するものとなっている。

令和6年度分について協議の結果、1,806万3,087円を負担金として9月定例会へ補正予算として計上することとした。

問 負担金が毎年出ると思われるが、今後どのような体制をとるのか。

答 当村の医療の確保、安心安全ということとで、診療所の維持・確保は必要なものと考えている。先生（医師）が「元氣なうちはやりたい」という思いを強く持っているので、それに応えていく。他町村では、当村以上に負担している。財源等については、国・県に働きかけていく。

5. 風間浦村給油施設指定管理者の公募について

募集要項の概要を説明。本格的な冬を迎えるまでには営業ができるようにしたい。

○スケジュール（予定）

- 8月27日 募集要項の配布
- 8月27日～9月19日 申請受付
- 10月 指定管理者の指定・協定書締結
- 11月 指定管理者による運営開始

議会運営委員会

8月26日開催

（欠席委員なし）



中嶋 茂 委員長

令和7年第3回（9月）定例会の運営に関する事項について審議。
☆定例会
提出となる案件等を勘案した結果、会期は、3日から8日

までの6日間。
一般質問は、通告期限までに3名の通告があり、受理。

議事日程は、開会初日は会期の決定、村長提案理由の説明、議案等の付託、特別委員会の設置、決算審査報告、各委員長報告、議員の派遣について、風間浦村選挙管理委員会委員の選挙、風間浦村選挙管理委員会委員補充員の選挙、陳情について、議案等の審議及び一般質問等を行い散会。

4～5日を休会とし、両日ともに総務常任委員会を開催。8日に本会議を再開し、委員長報告、議案等の審議、意見書についてを行い閉会。

また、9月12日に大間原子力発電所対策

特別委員会を開催。

☆議案等の審議

報告事項、人事案件及び損害賠償の和解を除く議案を、総務常任委員会に付託し審査。

☆特別委員会の設置について

全議員で構成する「議会活性化特別委員会」を設置し、「タブレット端末の議会への導入について」及び「議会の会議の継について」を審査。

☆人事案件の表決方法

易国間財産区管理会委員は一括での起立採決、他に提出された場合は無記名投票。

☆選挙管理委員及び補充員の選挙について

指名推選とし、議長が指名。

☆諮問

受理された陳情について審議した結果、「採択すべきもの」とし、本会議において審議。

陳情名「高額医療費の自己負担引き上げの撤回を求める意見書」の提出を求める陳情書。



総務常任委員会

9月4日開催

(欠席委員なし)



金森 一規 委員長

令和7年第3回定例会で本委員会に付託された議案16件について、担当課から説明を受け審査を行った。

付託された議案

- ① 令和6年度風間浦村一般会計歳入歳出決算認定について
- ② 令和6年度風間浦村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ③ 令和6年度風間浦村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ④ 令和6年度風間浦村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- ⑤ 令和6年度風間浦村下風呂財産区一般会計歳入歳出決算認定について
- ⑥ 令和6年度風間浦村易国間財産区一般会計歳入歳出決算認定について
- ⑦ 令和6年度風間浦村簡易水道事業会計決算認定について

算認定について

- ⑧ 風間浦村議会議員及び風間浦村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について
- ⑨ 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ⑩ 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- ⑪ 風間浦村有住宅管理使用条例の一部を改正する条例について
- ⑫ 令和7年度風間浦村一般会計予算を補正することについて
- ⑬ 令和7年度風間浦村国民健康保険特別会計予算を補正することについて
- ⑭ 令和7年度風間浦村介護保険特別会計予算を補正することについて
- ⑮ 令和7年度風間浦村後期高齢者医療特別会計予算を補正することについて
- ⑯ 令和7年度風間浦村簡易水道事業会計予算を補正することについて

議案審査

○一般会計歳入歳出決算認定

〔歳入〕

問 軽自動車税の収入未済額の車の車検の状況は。

答 未済は全部で9台あり、車検未取得が4台、そのうち3台はスクラップとなって

いるが軽自動車協会への申告がないためそのままとっている。

【歳出】

問 風間浦村高齢者配食・見守りサービス事業の状況は。

答 最大で月27人、240食。延べ285人、2,475食を配食。

問 農道等補修工事請負費の工事箇所は。

答 潜石道路撤去工事、農道の支障木撤去工事、農道の維持工事の3件。

問 ゆかい村再発見プロジェクト事業委託料及び下風呂温泉宿泊キャンペーン事業業務委託料の実績と費用対効果は。

答 下風呂温泉宿泊キャンペーン事業は、冬場の宿泊者に2千円の割引、千円の地域商品券、海峡の湯入浴券の3点セットを約千泊分行った。ゆかい村再発見プロジェクト事業は、首都圏の女性をターゲットにした温泉の美肌効果測定モニターツアー、県内有名アーティストと村民のコラボプロジェクトの2つを行った。主な効果としては、首都圏の新しい客層に温泉の魅力を知ってもらい、結果をホームページに掲載して今後の集客を得ること、有名アーティストと村の子供たちがコラボした作品を掲示し、一定の集客を得たこと。

○特別会計予算歳入歳出決算認定

問 介護保険料の年金引き落とし以外の徴収方法は。

答 65歳到達者及び年金からの引き落としができない方は納付書での徴収になる。

○一般会計予算の補正

問 道路整備事業債の内容は。

答 新庁舎建設敷地内の村道整備事業であり、見込んでいた交付金が減額となったため起債に追加したもの。

審査の結果

付託された全16議案に対し、全会一致で認定及び可決とし、1日繰り上げての閉会。



総務常任委員会の様子

委員会報告

大間原子力発電所対策特別委員会

9月12日開催

(欠席委員なし)



北館 智明 委員長

電源開発(株)大間原子力建設所より、倉田本部長他6名が出席

○新規制基準適合性審査の対応状況について

敷地の地質・地質構造のシームS-11の評価については、4つあるステップのうち、第3段階まで進んでいる。次回、第3段階の検討結果及び第4段階の審議を行う。津波の評価については、原子力規制委員会の理解が得られ、審議が終了した。火山影響評価については、火砕流などの火山事象について、影響を及ぼす可能性は十分小さいとする評価結果を説明し、原子力規制委員会から大筋の理解を得られた。火山灰などの火山事象については、発電所に堆積する火山灰の厚さを算定するプロセスなどについて、継続審議となった。

プラント審査の対応状況については、大間原子力発電所は建設中のプラントのメ

リットを生かし、先行例よりも手厚い対策を考えている。

○建設・運転差止等請求訴訟の審理状況について

国は、原告が前回「震源を特定せず策定する地震動」について規制基準が不合理であると主張したことに反論する準備書面を提出した。内容はこの規制基準は、現在の科学技術水準を踏まえた合理的なものであること、原告は誤った理解で主張をしていること等。

○その他

宿舎（潮風ハイツ）の建替工事については、今年度、3棟を解体・撤去し、同規模



倉田本部長の挨拶

の宿舎を建築、竣工予定。来年度、残る居住棟2棟を施工並びに竣工予定。

作業員増加による宿舎追加候補地として、村営野球場の土地の取得について「村有地の取得に関する申し入れ書」を村長へ提出。

社宅（5棟）は、2024年7月に着工し、建物工事は概ね完了。現在、外構工事を行い11月竣工予定。

○委員から

問 村営野球場に建設予定の作業員宿舎について、規模はどのくらいなのか。

答 調査等が終了したら作業員の人数や必要な規模等が決定するので、報告する。

○大間原発三ヶ町村協議会報告

昨年度に引き続き、要望活動を行う。知事要望は、防災避難道路の整備促進、大間原発オフサイトセンターの北通り地域内への建設等。

国土交通省へは防災避難道路の整備促進。

経済産業省、県選出国会議員へはエネルギー政策・原子力政策の推進、大間原発の早期工事再開、防災避難道路の整備促進。

○オフサイトセンター候補地の選定について

野球場から約250m大間側の周辺を選定。

一般質問 Q&A



金森 一規 議員

① 風間浦村の住宅事情について

② 空き家対策について

村では、若い人向けに住宅を提供してきたのでしょうか。

富岡 村長

補助事業で建設しているため、入居できる方は、低所得者に限定されている。入居条件に所得制限を設けない住宅整備は、現在まで実施していない。

金森 議員

低所得者のための住宅の地区別棟数、築年数、耐用年数及び現在の空き棟数は。

富岡 村長

下風呂地区の新甲平ノ上団地を平成29年度から令和4年度までに1棟2戸建てを5棟、計10戸を建て替え。現在の空き状況は1戸。

易国間地区の大川目団地を平成15年度に1棟3戸建てを1棟、1棟4戸建てを1棟の計7戸を整備。現在の空き状況は2戸。

小易国間団地を平成16年度から平成21年度までに1棟2戸建てを7棟、合計で14戸を建て替え。現在の空き状況は1戸。

蛇浦地区の古釜谷平団地を平成24年度に1棟4戸建てを1棟整備。現在の空き状況は2戸。寺ノ上団地を平成25年度から平成26年度に1棟3戸建てを2棟、計6戸建て替え。現在の空き状況は1戸。

令和7年8月末時点で、村内の公営住宅の管理状況は総戸数41戸。空き状況は7戸。公営住宅の耐用年数は、公営住宅法施行令により、木造住宅は30年。易国間地区に平成22年度に整備した大川目団地の2棟7戸が築22年と最も古い物件。

金森議員

6月定例会補正予算の中で特定空き家除却補助金150万円とあるが、特定空き家とはどのような空き家か。空き家に対してのこれまでの施策は。今後の対策は。除却補助金は、恒久的に続けるのか。

富岡村長

特定空き家は、そのまま放置すれば、倒壊等、著しく保安上、危険となる恐れがある状態の空き家。

空き家に対してのこれまでの施策は、特定空き家等除却事業補助金制度や風間浦村空き家バンク仲介等に関する協定書の締結。

今後の特定空き家対策は、年1回程度、業者委託により、空き家等の現況調査を行い、空き家台帳を更新し、区分C及びDランクと判定された所有者に対し、解体補助金が使え旨の通知を発出するとともに、引き続き除却事業補助金の財源を確保し、解体を促していく。

金森議員

七ヶ宿町(宮城県)のような施策(補助制度等)は出来ないものか。

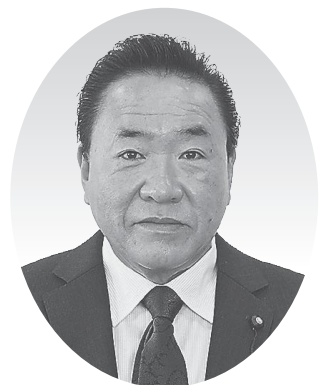
富岡村長

七ヶ宿町では住みたい住宅応援事業として、町民などが住宅の新築や空き家を改修または解体した場合などの補助制度や地域担い手作りの支援住宅事業として、40歳以上の子育て世帯の方が移住してきた場合に、町の新築町営住宅に20年間入居すると、その家土地が町から貰える制度を実施している。当村においても、定住促進住宅の整備が要望されているが、空き家の利活用及び空き家解体後における土地の利活用等も含め、空き家バンクへの登録を推奨しながら、定住のための住宅整備に取り組む。



一般質問

一般質問 Q&A



北舘 智明 議員

鳥獣害対策について

北舘議員

村内ではどのような猿の被害が起きているのか。また、熊が人里に現れ、小屋に侵入している事例もあるが、対策は。

富岡村長

村内の日本猿の生息数は、昨年度の調査で15の群れ、478頭が確認されている。これらの猿による農作物被害が発生しており、過去10年間では平成28年度の11万8,831円が最大の被害額となっている。

ツキノワグマに関しては、今年、出没が多く、昨年度の17件を上まわる20件の目撃情報が出場へ寄せられている、実際にはもっと多くの方が目撃しているものと思われる。人的被害は報告されていないが、小屋などの建物の一部が壊されるなど、物損被害が数件発生している。

今後における対策として、猿は、農地に

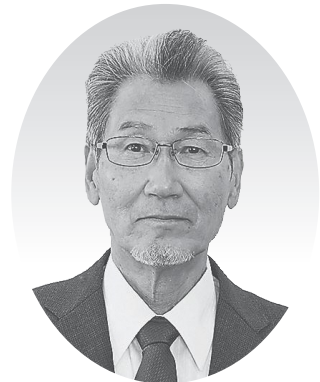
野菜クズ等を放置しないことなど、管理の徹底を耕作者に呼び掛けるとともに、電気柵の整備や猿の追い払いなどを、専門的知識がある鳥獣対策専門員1名と、非常勤の追い上げ実施隊3名により、通年で対応していく。

熊は、許可により捕獲するための罠を設置することができるが、民家近くに罠を設置することにより、逆に熊を呼び寄せる危険性があるため、罠を設置するためには注意が必要となる。当村では捕獲した熊を駆除するための人材が不足しており、人材を確保するため、下北猟友会から人員の派遣をお願いしている。まずは、熊を寄せつけないための対策として、生ゴミの排出ルールの徹底の他、米ぬかなど熊が好むものを小屋等に保管しないことを住民へ周知する他、駆除等に従事できる鳥獣害対策に精通した人材の確保に努める。



一般質問

一般質問 Q&A



越膳 喜好 議員

活イカ備蓄センターの現状と今後の運営について

越膳 議員 活イカ備蓄センターは、イカが獲れるまで稼働しないのか、あるいは別の多面的な運営方法も視野に入れているのか。

富岡 村長

イカの不漁が続くなか、イカの販売目的で施設を稼働するのは難しい状況。他の水産資源を扱うことは可能だが、現在の水槽の形状では、活イカ以外には使用できない。今後の運営については、引き続き漁協等と協議を重ね、新たな活用方法も含め、関係者で検討を進める。

越膳 議員

要望…年間100万円前後の経費が掛かっているため、運営方法を变えて、海産物を含め、広く他の商品も扱えるような別形態に変えて、1日でも早く稼働して欲しい。



活イカ備蓄センター

大間原子力発電所サイト視察

6月26日、大間原子力発電所について、現況説明、現場視察等が行われました。安全確保を最優先に、一日も早く次のステップに進んでいけるよう、しっかりと取り組むとのことです。



現況等についての説明の様子

県下町村議会議員研修会・ 県内事業所見学

7月10日、青森市で開催された「令和7年度県下町村議会議員研修会」に議員全員が出席しました。講師に政治アナリストの伊藤惇夫氏を迎え「今後の政局・政治展望」と題し、講演が行われました。

翌11日は、鶴田町にある、廃校を活用し、貸しオフィス等を行っている「TSURUTA LABO」(運営会社「一般社団法人もったいない研究所」)の見学を行いました。



空き教室利用状況の見学

タブレット端末デモンストレーション

現在、全国的にペーパーレス化が進んでおり、議会へタブレット端末を導入する動きが活発化しており、当村議会でも検討をしております。9月5日には、タブレット端末のデモンストレーションが行われ、議員全員が参加し、タブレット端末の操作を行いました。



タブレット端末の使用方法的説明の様子

ちよつと言 風間浦村敬老会



9月9日、易国間社会体育館において、令和7年度風間浦村敬老会が盛大に開催されました。今年度の対象者は431名で約100名の方が出席されました。米寿の方は19名で村から記念品が贈呈されました。おめでとうございます。

祝宴イベントでは、歌や踊りが披露され、大変楽しい時間を過ごしていただけたと思います。

来年も元気な姿で再会できる事を楽しみにしています。(文：蛸島 巨)



風間浦保育所の子どもたち



米寿記念品の贈呈



ゆかい村音頭

ちよつと言
編集後記

編集後記



議会広報編集委員会
委員長 越膳 喜好
副委員長 杉山 太
委員 中嶋 茂
北館 智明
蛸島 巨

(文：越膳 喜好)
いつも議会だよりを
読んでいただきありが
とうございます。
今回の定例会は、令
和6年度の決算審査内
容も含まれていますの
で、濃い内容になっ
ています。
これから村民の皆
様に分かりやすく、見
やすい議会だよりにし
ていけるよう心がけて
参ります。